



平成 27 年 1 月 28 日

各 位

会 社 名 株式会社 不 二 家
代表者名 代表取締役社長 櫻井 康文
(コード番号 2211 東証第一部)
問合せ先 取締役総務人事本部長 河村 宣行
(TEL. 03-5978-8100)
当社の親会社 山崎製パン株式会社
代表者名 代表取締役社長 飯島 延浩
(コード番号 2212 東証・大証第一部)

平成 26 年 12 月期業績予想及び配当予想の修正に関するお知らせ

最近の業績動向を踏まえ、平成 26 年 7 月 31 日に公表した業績予想及び配当予想を下記の通り修正いたしましたのでお知らせいたします。

記

- 平成 26 年 12 月期通期連結業績予想数値の修正（平成 26 年 1 月 1 日～平成 26 年 12 月 31 日）
(金額の単位：百万円)

	売 上 高	営業利益	経常利益	当期純利益	1 株当たり 当期純利益
前 回 発 表 予 想 (A)	1 0 3 , 0 0 0	1 , 3 0 0	2 , 0 0 0	1 , 2 0 0	4 円 6 6 銭
今 回 修 正 予 想 (B)	1 0 4 , 1 0 5	8 8 7	1 , 1 6 8	△ 1 1 0	△ 0 円 4 3 銭
増 減 額 (B-A)	1 , 1 0 5	△ 4 1 2	△ 8 3 1	△ 1 , 3 1 0	—
増 減 率 (%)	1 . 1	△ 3 1 . 7	△ 4 1 . 6	—	—
(ご参考) 前期実績 (平成 2 5 年 1 2 月期)	9 3 , 7 6 0	1 , 0 9 6	1 , 7 8 6	9 3 0	3 円 6 1 銭

修正の理由

通期の連結業績予想につきましては、売上高は予想を上回りましたが、営業利益では、当第 4 四半期連結会計期間（平成 26 年 10 月 1 日～平成 26 年 12 月 31 日）は前年同期を上回る業績となったものの、通期では予想を下回る見込みであります。洋菓子事業においては、消費税率引上げ後の既存店売上高の低迷に加え、原材料価格の高騰や、消費者ニーズに対応して手作り感を出した製品の生産が拡大したことによる労務費増、店舗数の増加に伴う一時的な物流費の増もあり、収益の確保に苦戦しました。またレストランについても原材料価格の高騰や人件費の増を吸収しきれず業績を落としました。製菓事業においては、単体菓子で主要原料、特にチョコレート原料やアーモンドの価格高騰の影響が大きく、製品の規格改定などの対応が遅れ、損益を下振れさせることとなりました。経常利益では持分法適用関係会社の業績低下により、また当期純利益でも特別損失に子会社にかかるのれんの一時償却を計上したことや税負担の増加により予想を下回る見込みであります。これらの結果を踏まえ、連結業績予想を上記のとおり修正いたしました。

● 配当の修正について

	年間配当金		
	第 2 四 半 期 末	期 末	合 計
前 回 予 想		1 円 50 銭	1 円 50 銭
今 回 修 正 予 想		0 円 00 銭	0 円 00 銭
当 期 実 績	0 円 00 銭		
(ご参考) 前期実績 (平成 25 年 12 月期)	0 円 00 銭	1 円 50 銭	1 円 50 銭

修正の理由

当社は、株主の皆様に対する利益還元を経営の最重要課題の一つとして位置づけております。しかしながら、平成 26 年 12 月期の業績につきましては、連結及び当社単体ともに当期純損失を計上する見込みであることから、誠に遺憾ではございますが、期末配当の予想を無配とさせていただきます。

以 上